

第15回全国障害者スポーツ大会「紀国 わかやま大会」に参加して。

平成27年10月22日(木)～10月27日(火)、和歌山県で行われた第15回全国障害者スポーツ大会「紀国 わかやま大会」に参加しました。その様子を卓球選手団の行動を中心に報告いたします。

【平成27年10月22日(木)】

平成27年10月22日(木)午前11時より、三日月滋賀県知事ご出席の下、滋賀県庁公館で結団・壮行式が催されました。温かい激励の言葉を頂き、いよいよ今年の全国大会が始まるのだと、選手・役員一同(選手33名・役員29名 計62名)身の引き締まる思いでした。選手宣誓をアーチェリーの手島美知子さんが全員を代表し堂々と述べ、滋賀県知事をはじめ全員が注目する中、ずいぶん緊張したであろうに間違えず言えたのはたいしたものだと感心しました。県職員の方々のお見送りを受け、バスにて和歌山県に向け出発しました。



名神高速道路から、阪和自動車道に入り、紀ノ川サービスエリアを出発すると間もなく高速道路の両側に、山の斜面に至るまでミカン畑が点在するのが見えてきました。川端康成風に言うと「国境の長いトンネルを抜けるとミカンの国であった。」です。いよいよ宿舎迄もう少しです。

宿舎に到着しました。宿舎は国民宿舎「湯浅城」です。ミカン畑に囲まれた小高い丘の上にある、その名の通りのお城の外観をした国民宿舎です。同宿は滋賀県の卓球・水泳・ボウリング選手団と仙台市の水泳・ボウリングの代表選手団の方々です。特筆すべきは、どなたに聞いてもこれまで記憶にないと言っておられた天然温泉が有る施設だということです。仙台市の方々も天然温泉が有る施設は初めての経験だと言っておられました。(ラッキー)



【平成27年10月23日(金)】

10月23日(金)は「公式練習日」です。

AM7:30 朝食。 AM8:45 宿舎出発。 AM10:30~12:00 公式練習。

練習場所は、明日から試合のある体育館と同じ「和歌山ビッグホール・ウェーブ」。

宿舎出発時、この和歌山全国大会期間中私達滋賀県選手団をサポートして頂く和歌山県職員員の三宅さんとサポートボランティアで和歌山市医師会看護専門学校学生さんの田中さんと宮地さんがすでに宿舎玄関でお出迎えて頂く。

この御3人さんには以後、親身のサポートをして頂くと共に、多大のご迷惑とお手を煩わす事になりました。心底感謝いたします。



体育館「和歌山ビッグホール・ウェーブ」
と手作りの「のぼり」の前で記念撮影。
(撮影者 渡邊コーチ)

「応援垂れ幕」と「のぼり」を手作りしてくれた
和歌山県ボランティアサポートの
田中さんと宮地さんとの記念写真(右側の2人)。



※ 卓球競技大会場の公開練習風景

【平成27年10月24日(土)】

10月24日(土)は「開会式・競技第1日目」です。

AM4時過ぎ 起床。 AM5:00 朝食(AM7時ではないよ \(\circ\)/)

AM6:05 宿舎出発。(勿論早朝から和歌山県のサポート3人も同行・案内して頂きました。感謝。)

AM8:40 開会式(和歌山県立総合運動公園陸上競技場)

滋賀県選手団の団旗(旗手陸上の酒井貴勝さん)を先頭に、滋賀県のシンボルマークが入った小旗を手に入場行進を行いました。滋賀県代表として行進しているのだと感慨深いものが有りました。

学生さんたちの円舞や趣向を凝らした数々のセレモニーが有り、歓迎の気持ちをヒシヒシと感じました。

AM12:15 会場出発。バスにて卓球競技が有る体育館「和歌山ビッグホール」に向かう。

PM14:00 卓球競技開会式。 PM14:30 競技開始。 PM18:30 競技終了。

PM20:20 宿舎到着。 PM20時30分夕食。 PM21:10ミーティング。PM22:30就寝。



【平成27年10月25日(日)】

10月25日(日)は「競技第2日目」です。

AM5:30 朝食。AM6:45 宿舎出発。(前日に引続き、早朝から和歌山県のサポート3人も同行・案内して頂きました。) AM9:00 卓球競技開始。 PM17:45 試合会場出発。

PM19:00 夕食。 PM21:10 ミーティング。 PM22:30 就寝。



上：試合風景

下：表彰式風景



【平成27年10月26日(月)】

10月26日(月)は「閉会式」です。

AM8:00 朝食。和歌山県に来て初めて、余裕の有る時間帯に朝食が取れました。

今日は卓球競技が無く、朝食まで時間的余裕もあり朝風呂(温泉)に入りました。

仙台市の選手達もたくさんの方が入っておられました。皆さん試合も終わり、ほっとした表情で楽しんでおられました。

AM9:55 宿舎出発。AM11:00 開会式場である和歌山県立総合運動公園陸上競技場に到着。

今大会最後で最高にテンションの上がる競技と言ってもいい、陸上競技 男女混合400mリレー(4人×100mリレー)の応援をする。大接戦の末、2位でゴール。ゴール前の接戦には全員立ち上がり思わず大声を出し一生懸命応援しました。滋賀県選手団の固い団結を全身に感じた一時でした。

PM15:00 閉会式が開始される。開会式とは違い入場行進はなく、グラウンド一面に置かれた所定の椅子に着席し、炬火納火を感慨深く見詰めました。

PM17:00 閉会式終了。

PM17:45 宿舎到着。

PM19:00~20:30 成績発表・夕食。

滋賀県選手団成績(カッコ内は昨年H26年の成績)

金 16(14) 銀 17(17) 銅 12(5) 合計45(36)

大会新記録 5(0)

自己新記録 16(14)

卓球選手団成績 古澤 明:銀。 大石 康雄:銀。 脇 恵子:銅。

河内 裕亮:銀。 上田 日月:銀 原田 明彦:金



上:炬火台と炬火



下:閉会式風景



【平成27年10月27日(火)】

10月27日(火)は帰県・解団式です。

AM8:00~9:00 朝食。

AM9:00~ 荷物整理・チェックアウト・和歌山県サポート担当者とのお別れの挨拶。

AM11:10 宿舎出発。



上：和歌山県サポート担当者（三宅さん・田中さん・宮地さん）と卓球選手団との記念撮影。
背景は宿舎の「国民宿舎 湯浅城」。

下：和歌山県サポート担当者（三宅さん・田中さん・宮地さん）にお礼の言葉を書いた色紙を手渡す。



PM14:00 滋賀県選手団解団式（於、大津合同庁舎）

成績報告・団旗の返還・解団の言葉 等を経て解団式が終了しました。

※ 解団式での記念撮影



記： 滋賀県代表卓球選手団 コーチ（介護人） 小嶋

県選手躍動最多45メダル

第15回全国障害者スポーツ大会（10月24～26日・和歌山県）で和歌山県選手団が過去最多となる45個のメダルを獲得し、大会新記録も5つ樹立した。目立ったのはジュニア選手たちの活躍。2022年に地元開催される同大会などを控え、選手育成のあり方を見直した成果が目始めている。（田中仁志）

全国障害者スポーツ大会



海田勇は障害者野球の何人か選手に上りた成功の瞬間が印象的だった。大会では16回、陸上男子少年ソフトボール種目（知的障害）を57点の差で優勝した。大会で初めて、この記録を出して喜び、涙を流す。

大会新五つ 育成方式見直し成果

頂へ

大会（和歌山県）は16日、和歌山県立和歌山高等学校で閉会式が行われ、和歌山県選手団の表彰式が行われた。大会で和歌山県選手団は過去最多となる45個のメダルを獲得し、大会新記録も5つ樹立した。目立ったのはジュニア選手たちの活躍。2022年に地元開催される同大会などを控え、選手育成のあり方を見直した成果が目始めている。

10年前から中継選手を育成するに当たり「選手育成」を重視し、選手団の強化を図る。大会で和歌山県選手団は過去最多となる45個のメダルを獲得し、大会新記録も5つ樹立した。目立ったのはジュニア選手たちの活躍。2022年に地元開催される同大会などを控え、選手育成のあり方を見直した成果が目始めている。

大会で和歌山県選手団は過去最多となる45個のメダルを獲得し、大会新記録も5つ樹立した。目立ったのはジュニア選手たちの活躍。2022年に地元開催される同大会などを控え、選手育成のあり方を見直した成果が目始めている。

大会で和歌山県選手団は過去最多となる45個のメダルを獲得し、大会新記録も5つ樹立した。目立ったのはジュニア選手たちの活躍。2022年に地元開催される同大会などを控え、選手育成のあり方を見直した成果が目始めている。

全国障害者スポーツ大会で和歌山県選手団が過去最多となる45個のメダルを獲得し、大会新記録も5つ樹立した。目立ったのはジュニア選手たちの活躍。2022年に地元開催される同大会などを控え、選手育成のあり方を見直した成果が目始めている。